

次期総合計画「地区別計画」策定方針

(1) 地区別計画とは

地区別計画とは、各地区それぞれの現状や課題を踏まえ、将来の地域づくりの目標や方向性を示す計画です。この計画は、その地域に住む市民一人ひとりや自治会をはじめとする地縁団体が主体となり、市民活動団体や企業などの参画のもとに策定します。

(2) 地区別計画の必要性

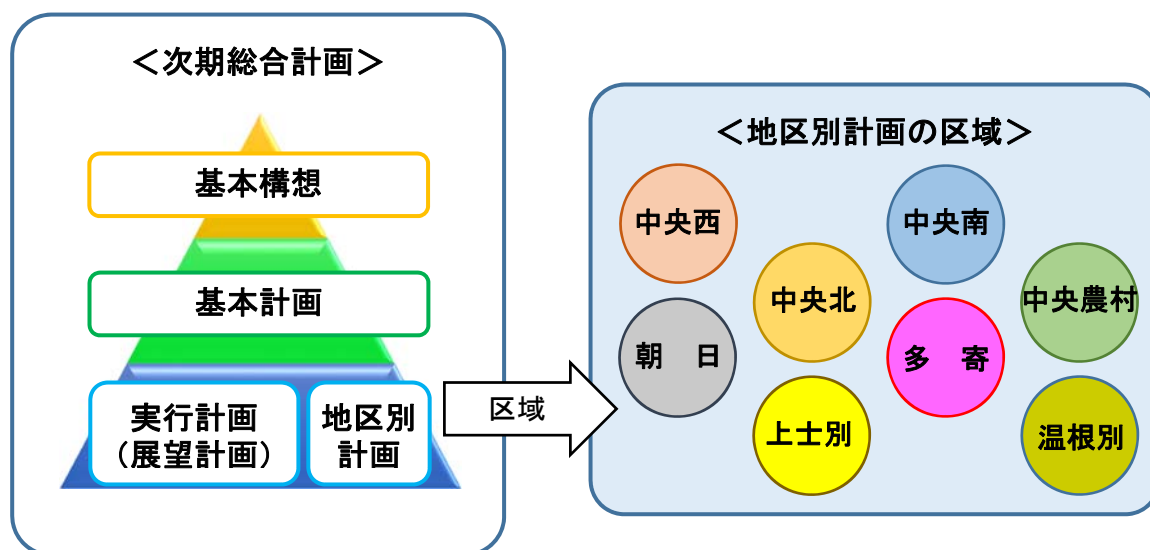
士別市総合計画では、本市全体の将来像や基本目標を設定し、その実現に向けての具体的な施策や事業を示しています。

本市は、昭和と平成に2度の大きな合併を経て発展してきたまちであり、広大な行政面積を有しています。人口減少が進むなか、各地区がこれまでと同様に地域を維持・形成していくため、改めて自らの地域を見つめ直し、地域の将来を考えることが重要です。

次期の総合計画においては、各地区内の市民や自治会などが連携して、将来にわたって活力ある地域を維持するため、各地区の地域づくりの指針となる「地区別計画」を策定します。

(3) 地区別計画の区域

地区別計画は、朝日地区、上士別地区、多寄地区、温根別地区、中央西地区、中央北地区、中央南地区、中央農村地区の合計8地区で策定します。(別添の図面参照)



地区別計画の区域	計画の対象となる自治会名
中央西地区	にってん、観月、駅南、第9
中央北地区	宮下、兵村、北光、屯田、第一町内、親栄、第三、第四、第5町内、九十九、桜丘
中央南地区	創成、あけぼの、中央、七星、南親会、親和、東栄、東山、東丘、南町南栄、南町第二、南町南郷、南町南光、南町南進
中央農村地区	北町、西士別、学田、南士別、武徳、下士別、川西、中士別
朝日地区	糸魚、朝日第3区、朝日中央、あさひ、みずほ、南朝日、登和里
上士別地区	川北、上士別中央、黄金、上士別第7、上士別第8、共栄、上士別第10、上士別第11、川南、成美、大和
多寄地区	多寄第1、多寄第2、中多寄、多寄東、多寄中央、多寄南町
温根別地区	温根別第1の1、温根別第1の2、温根別第2、北温、温根別第6、温根別第7、白山

(4) 次期総合計画との関係

地区別計画は、次期総合計画と一体的な計画として位置づけ、その計画期間を平成30年度から33年度までの4年間で構成します。4年後の33年度には、それぞれの各地区別計画を必要に応じて見直しを行いながら、34年度以降の4年間の計画を策定します。

第1年次 30年度	第2年次 31年度	第3年次 32年度	第4年次 33年度	第5年次 34年度	第6年次 35年度	第7年次 36年度	第8年次 37年度
基本構想(8年)							
			検証				検証
基本計画(8年)							
			調整	基本計画(8年)			調整
実行計画(4年)				展望計画(4年)			
			調整	実行計画(4年)			調整
				実行計画(4年)			調整
				展望計画(4年)			
地区別計画(4年)				地区別計画(4年)			
			調整	地区別計画(4年)			調整
				地区別計画(4年)			調整
市長任期				市長任期			
				市長任期			市長任期

(5) 地区別計画の構成

地区別計画は、次の5つの分野で構成します。

①地区の概要・特徴

… 特徴、施設、産業、文化、行事、交通など

②地区の基礎データ

… 人口、年齢構成、世帯数、高齢化率など

③地区の宝物と課題

… 今後も大切にしたい地区の宝物（物・人・イベントなど）や、今後の地域づくりを進めるうえでの課題（後継者不足、防災体制、獣害など）

④地域づくりの目標

… ○○地区の地域づくりの目標「一人ひとりが輝く、安全安心で・・・・・・・・」

⑤地域づくりの方向性

… 地区の概要・宝物・課題などを把握しながら、「地域資源」を生かした取り組みや、「自治会活動」、「健康長寿の取り組み」、「子育て環境」などの分野別に示します。

(6) 地区別計画の策定方法

各地区で多くの市民の参加・参画のもと3回程度のワークショップを開催し、各地区の「地域づくりの目標や方向性」などを定めます。策定にあたっては、各地区の地域担当職員（総合所や各出張所の職員を含む）や次期総合計画策定本部事務局が各地区に出向き、ワークショップを進行・運営します。

また、「次期総合計画検討市民委員会」との連携を図るとともに、各地区から選出された委員の協力も得ながら策定作業を進めます。

ワークショップは、概ね次のとおり進めます。

- ・第1回 地区の概要や特徴、基礎データの把握、地区の宝物や課題の洗い出し
- ・第2回 課題の洗い出しなどから、各地区の「地域づくりの目標」を設定、分野別に方向性を検討
- ・第3回 地区の課題などから、各地区の「地域づくりの目標」を設定、分野別に方向性を検討、最終確認

*各地区のワークショップは、議論の進み方によって開催回数が変わります。

(7) ワークショップへの参加

ワークショップへの参加資格は、市民及び士別市内に通勤・通学している方とする。ワークショップの参加にあたっては、議論の一貫性、情報や意見の共有を図る観点から、すべてのワークショップに参加できる方を基本とするが、途中からの参加もそれまでの議論の過程を尊重することを条件に了承する。

(8) 策定スケジュール

平成28年8月～

ワークショップの告知・参加者募集

ワークショップの開催

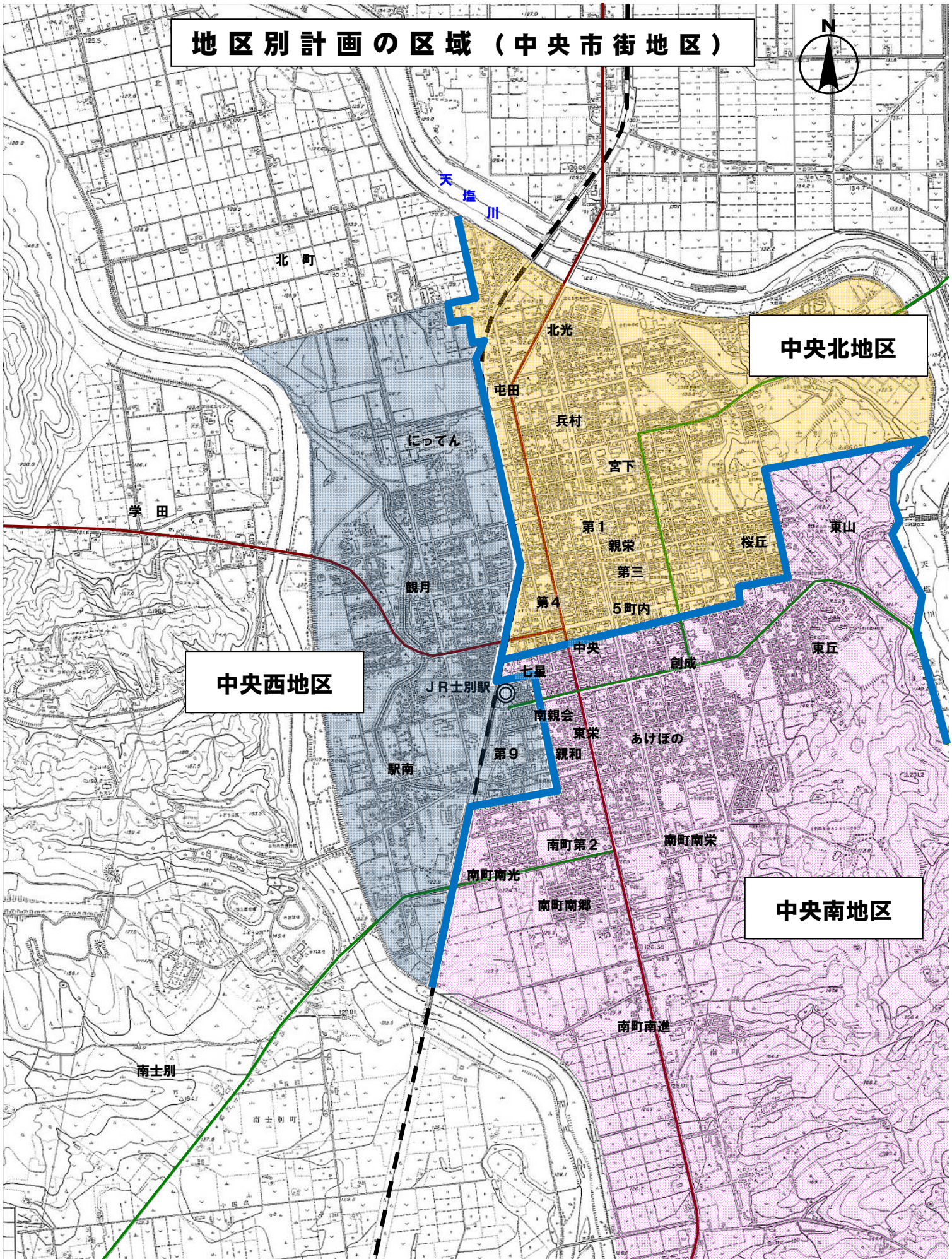
開催結果の情報提供（市ポータルサイトほか）

地域担当職員の勉強会及び情報交換会

平成29年3月

検討市民委員会、市長等への報告

地区別計画の区域（中央市街地区）



中央北地区

中央西地区

中央南地区

地域別計画の区域（中央市街地区を除く）



多寄地区

中央農村地区
→川西・中士別・北町・
西士別・学田・南士別・
武徳・下士別

温根別地区

図面(1)参照

上士別地区

朝日地区

